

# 彙報

教研究所第三十回連続講演会「聖俗の空間とコスモロジー」 二〇〇二年六月

## 平成十四年度 研究所活動報告

前号彙報のように、研究会「弘法大師の思想とその展開に関する研究」と「密教の形成と流伝に関する研究」は、平成十二年度から合同で月例の研究会を行なっている。平成十四年度は学外の研究者を招いて集中的に行われた研究会の他、受託研究員河延龍（韓国）氏の発表を含め、都合九回開催した。研究会のメンバーは、生井所長、藤田・前谷・越智・山陰・室寺各所員の他、受託研究員として岩崎日出男（園田学園女子大 学助教授）・森雅秀（金沢大学助教授）・野口圭也（種智院大学教授）・大塚伸夫（大正大学講師）各氏を加えた十名である。研究会の開催状況は前号彙報のとおり。

## 平成十四年度 研究所所員研究業績

藤田 光寛

○論文

『Santaraksita 著〈律儀二十註〉について』 『高野山大学密教文化

研究所紀要』第一六号 二〇〇三年二月 一一―一九頁（横組）

○口頭発表

「山岳寺院と心のコスモロジー」 上智大学キリスト教文化・東洋宗

前谷 彰

○口頭発表

「自然環境とartifactsの問題」 日本仏教学会 二〇〇二年九月 京都女子大学

山陰加春夫

○論文

「室町初期における庄園の再編―金剛峯寺領紀伊国官省符庄の場合―」

『国立歴史民俗博物館研究報告』一〇四 国立歴史民俗博物館 二〇〇

〇三年三月 四三―六八頁

○その他

「鞆淵荘の調査と報告書」 『和歌山地方史研究』四四 和歌山地方

史研究会 二〇〇二年一月 一一―一八頁

「紀ノ川流域に誕生した四大『共和国』」 『週刊日本の街道41奈良・

大和街道』 講談社 二〇〇三年二月 二六―二八頁

「頼富本宏・白木利幸著『日文研叢書 三三 四国遍路の研究』」（新刊

紹介） 『密教学研究』三五 二〇〇三年三月 一五三―一五七頁

『改訂 九度山町史』史料編 伊都郡九度山町 二〇〇三年三月 一

一一―三四五頁

室寺 義仁

○論文

『十地経』における「大悲」(matakarūpa)に(こ)つ 『日本仏  
教学会年報』第六七号 二〇〇二年五月 一三一—二六頁

「仏教的「一切」(sarva)と識別(vijñāna)―世親の有部批判―」

『東方学』第一〇五輯 二〇〇三年一月 一三五—一四八頁

○口頭発表

「ブツダの言葉の伝承・解釈・翻訳に対する分析手法上の課題―サン  
スクリット翻訳文献群としてのチベット大蔵経研究遂行上の問題点―」

古典学の再構築(原典班) 研究集会 二〇〇二年七月 京都大学

○その他(報告論文)

「ヴァスバンドゥに帰せられるチベット翻訳文献群について」 『論  
集 原典』(平成10年度～14年度文部科学省科学研究費補助金 特定  
領域研究(A)118「古典学の再構築」研究成果報告集Ⅱ、A01「原典」  
班研究報告) 二〇〇三年三月 一四四—一五七頁

平成十四年度 寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十三年四月より平成十四年三月末  
までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く  
御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力  
と御支援をお願いいたします。

寄贈図書

○あしかび叢書 2 〈ロシア人学者が見た昭和天皇〉 国際文化工房編

(神道国際学会 平成14年8月) 発行者殿

○大倉邦彦と精神文化研究所(講演集) 大倉精神文化研究所編

(同研究所 平成14年9月) 発行者殿

○月山寺磯部談義所 内山純子編

(茨城県郷土文化顕彰会 平成14年7月) 曙光山月山寺殿

○金沢大学アジア宗教文化叢書 第1巻 第1号 島岩訳

(金沢大学文学部比較文化研究室 平成14年3月) 発行者殿

○神坂次郎の紀伊半島再発見 神坂次郎著

(コミュニカ 平成13年12月) 甲田博史殿

○漢伝密教 嚴耀中著(学林出版社 平成11年11月) 岩崎日出男殿

○観音のみてら石山寺 奈良国立博物館編

(同博物館 平成14年8月) 甲田博史殿

○堯栄文庫研究紀要 第3号 親王院堯栄文庫編

(親王院堯栄文庫 平成14年9月) 発行者殿

○教団論研究セミナー(インターネットの中の神々)

日蓮宗現代宗教研究所編(日蓮宗宗務院 平成14年3月) 編者殿

○光華叢書 4

〈南伝仏教の処世訓『ローカーニティ』講話〉 池田正隆著

(京都光華女子大学真宗文化研究所 平成14年3月) 発行者殿

○高野山金剛峰寺 堀田真快著(学生社 昭和47年1月) 甲田博史殿

○高野山大学公開講座テキスト二〇〇二 高野山大学公開講座部会編

(高野山大学 平成14年8月) 発行者殿

○高野山大学論叢 第37巻 高野山大学編(同大学 平成14年2月)

発行者殿

○高野山大宝蔵展 第23回〈高野山の信仰と子院の秘宝〉

高野山霊宝館編(高野山霊宝館 平成14年7月) 発行者殿

- 高麗美術館研究紀要 第3号 高麗美術館研究所編
- 声に出して読む般若心経 山名哲史著 (同研究所 平成14年11月) 河廷龍殿
- 『三僧記類聚』に関する総合的研究 武内孝善編 (明日香出版社 平成14年7月) 甲田博史殿
- 事相入門 中村涼應編(青幻舎 平成14年11月) 編者殿 甲田博史殿
- 神道国際学会 第5回神道セミナー「神道と外来宗教の出会い」 (高野山大学 平成14年3月) 編者殿  
〈ISEセミナーブック〉 国際文化工房編
- 神道古典研究所紀要 第8号 神道古典研究所編 (神道国際学会 平成14年9月) 発行者殿
- 神道と日本文化通信 第1、2期 浙江大学日本文化研究所編 (神道大系編纂会 平成14年3月) 発行者殿
- 神道と日本文化論文コンテスト優秀作品集 王守華主編 (同研究所 平成12、13年12月) 神道国際学会殿
- 人文研ブックレット13〈スタンダール、バルザックとイタリヤ〉 (浙江大学日本文化研究所 平成12年7月) 神道国際学会殿  
(フィリップ・ベルティエ著 平成14年2月) 中央大学人文科学研究所殿
- 浙江省中日関係史学会叢刊1〈中国関係史上的の浙江〉 呂洪年主編 (国際文化工房出版 平成13年7月) 神道国際学会殿
- 浙江省中日関係史学会叢刊2〈国統区日人反戦運動〉 孫金科著 (国際文化工房出版 平成13年12月) 神道国際学会殿
- 浙江省中日関係史学会叢刊3〈呉越移民与古代日本〉 王勇著 (国際文化工房出版 平成13年12月) 神道国際学会殿
- 智山伝法院選書 第9号〈報恩院流十八道の手引き〉 (智山伝法院 平成14年3月) 発行者殿
- チベットの娘 リンチェン・ドルマ・タリン著 (中央公論新社 平成15年2月) 三浦順子殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書29〈ツァロートの道〉 (中央大学人文科学研究所編(中央大学出版部 平成14年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書30〈埋もれた風景たちの発見〉 (中央大学人文科学研究所編(中央大学出版部 平成14年5月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書31〈近代作家論〉 (中央大学人文科学研究所編(中央大学出版部 平成15年2月) 編者殿
- 中国蔵伝仏教史〈中国文化史叢書50〉 冉光栄著(文津出版) 甲田博史殿
- 中世高野山領における儀礼・祭礼と民衆統合に関する研究 (平成9〜11年度文部省科学研究費補助金(基盤研究(C)(1)) 研究報告書) 木村茂光著(木村茂光 平成12年3月) 山陰加春夫殿
- 中世再現一二四〇年の荘園景観 和歌山中世荘園調査会編 (同調査会 平成15年3月) 発行者殿
- 伝道参考シリーズ12〈環境問題と天理教〉 天理大学おやさと研究所編 (同研究所 平成13年3月) 編者殿
- 南山進流詳解魚山叢芥集〈五音譜篇上・下〉 吉田寛如著 (正興寺 平成9・11年) 著者殿
- 南山進流詳解魚山叢芥集〈五線譜篇、資料篇〉 吉田寛如著

- 入宋僧齋然の研究 木宮之彦著(鹿島出版会 昭和58年6月) 著者殿  
(正興寺 平成8年4月、9年12月)
- 日文研叢書24 〈近世艷本資料集成1 菱川師宣1~3〉 甲田博史殿  
早川聞多編(国際日本文化研究センター 平成14年3月)
- 日文研叢書25 〈韓国的民族主義の成立と宗教〉 申昌浩著 発行者殿  
(国際日本文化研究センター 平成14年3月)
- 日文研叢書26 〈日本の語り物〉 時田アリソン、薦田治子編 発行者殿  
(国際日本文化研究センター 平成14年10月)
- 日文研叢書27 〈武器の進化と退化の学際的研究〉 石井紫郎編 発行者殿  
(国際日本文化研究センター 平成14年12月)
- 根来寺の能面 田邊三郎助監修(淡交社 平成14年5月) 発行者殿
- 根来寺の歴史と文化 和歌山県立博物館編 根来寺文化研究所殿  
(同博物館 平成14年10月)
- 念仏の時空論考 菅田祐準著 著者殿  
(思想文閣出版 平成15年1月)
- 抜萃のつゞり 62 熊平製作所編 発行者殿  
(同製作所 平成15年1月)
- 福神 第8号 (福神研究所 平成14年5月) 発行者殿
- 望洋百年 成田山仏教図書館(同図書館) 発行者殿
- 法隆寺 間中定泉、高田良信著 発行者殿  
(学生社 昭和49年1月) 甲田博史殿
- マンガラへチベット・ネパールの仏たち 立川武蔵編 森雅秀殿  
(国立民族学博物館 平成15年3月)
- 密教学会報 第39・40合併号 高野山大学密教学会編 発行者殿  
(同学会 平成14年3月)
- 密教学報 第3輯 威徳大学校密教文化研究院編 発行者殿  
(同研究院 平成13年11月)
- 密教文化 第208号 密教研究会編(密教研究会 平成14年3月) 発行者殿
- 密教瞑想法 佐伯泉澄著 発行者殿  
(高野山出版社 平成14年10月)
- 薬師寺 高田好胤、山田法胤著 甲田博史殿  
(学生社 昭和55年2月)
- 理趣経講録 上田壺城著(隆昌堂 平成14年10月) 甲田博史殿
- Akira Yuktawa, Engene Burnouf, The Background to his Research into the Lotus Sutra. Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica III. International Research Institute for Advanced Buddhism. Soka University, Tokyo, 2000. 発行者殿
- Asiatic Society (An Institution of National Importance). Asiatic Society, 1995. 乾仁志殿
- Asutosh Museum of Indian Art; Introduction. University of Calcutta, 1981. 乾仁志殿
- Asutosh Museum of Indian Art; East Indian Sculptures. University of Calcutta, 1981. 乾仁志殿
- Christian M. Hermansen ed., Japanese Religions Vol.27 No.2. NCC Center for the Study of Japanese Religions, Kyoto, 2002. 藤田光寛殿
- Glimpses into the World of Shinto, Essays on Shinto Vol.2, In-

ternational Shinto Foundation Essay competition Results 2000-2001. International Shinto Foundation, Tokyo, 2002.

柴田聖

○Images of Japanese 'Kami' in the eyes of foreign students, Essays on Shinto Vol.1, International Shinto Foundation Essays competition Results 1996, 1998. International Shinto Foundation, Tokyo, 2002.

柴田聖

○Imre Hamar, A Religious Leader in the Tang: Chengguan's Biography, Studia Philologica Buddhica Occasional Paper Series 12. International Institute for Buddhist Studies, Kyoto, 2002.

柴田聖

○Institute of Buddhist Studies, ed., Pacific World, journal of the Institute of Buddhist Studies, Third series No.3, Berkeley, Institute of Buddhist Studies, 2001.

柴田聖

○International Research Center for Japanese Studies, Nichibunken Japan Review No, 14, International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, 2002.

柴田聖

○J. N. Rabinovitch and T. R. Bradstock, The Kanshi Poems of the Ozaka Tanzaku Collection: Late Edo Life through the Eyes of Kyoto Townsmen, Nichibunken Monograph Series No.5. International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, 2002.

柴田聖

○Losel Literature series Vol.20. Drepung Loseling Educational Society, Mundgod, India, 1996.

中田聖

○Losel Literature series Vol.55,57. Drepung Loseling Educational

Society, Mundgod, India, 2000.

中田聖

○M. I. Vorobyova-Desyatovskaya, The Kaśyapaparivarta, Romanized Text and Facsimiles, Bibliothographia Indica et Philologica Buddhica V. The International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University, Tokyo, 2002.

柴田聖

○Michael Zimmermann, A Buddha Within: The Tathagatagarbhasutra, The Earliest Exposition of the Buddha-Nature Teaching in India, Bibliothographia Indica et Philologica Buddhica VI. The International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University, Tokyo, 2002.

柴田聖

○Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University, Tenri Journal of Religion No. 30. Tenri University Press, Tenri, 2002.

柴田聖

○Samten G. Karmay and Yasuhiko Nagano ed., A Catalogue of the New Collection of Bonpo Katen Texts, Senri Ethnological Report 24.25. National Museum of Ethnology, Osaka, 2002. (CD-ROM版)

柴田聖

○Samten G. Karmay and Yasuhiko Nagano ed., The Call of the Blue Cuckoo, Senri Ethnological Report 32. National Museum of Ethnology, Osaka, 2002.

柴田聖

○Seishi Karashima, A Glossary of Dharmarakṣa's Translation of the Lotus Sutra. Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica I. International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University, Tokyo, 1998.

柴田聖

○Seishi Karashima, A Glossary of Kumārajīva's Translation of

解

標

5

- the Lotus Sutra. Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica IV. International Research Institute for Advanced Buddhism. Soka University, Tokyo, 2001. 発行者殿
- Thig gi lag len du ma gsal bar bshad pa bzo rig mdzes pa'i kha ryan zhes bya ba bzhugs so. Drepung Loseling Library Society, Mundgod, India, 2000. 甲田博史殿
- World Buddhist Heritage: Perspectives and Prospects, Silver Jubilee Session of the X X V International Buddhist Conference, 2000. 発行者殿
- Yuichi Kajikama, The Antaryāpīsamārthana of Ratnakaraśānti. Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica II. International Research Institute for Advanced Buddhism, Soka University, Tokyo, 1999. 発行者殿
- Yumi Ousaka, et al., Automatic Analysis of the Canon in Middle Indo-Aryan by Personal Computer, Philologica Asiatica, Monograph Series 19. Chuo Academic Research Institute, Tokyo, 2002. 発行者殿
- 交換寄贈雑誌
- 1 愛知学院大学文学部紀要〈第32号〉  
愛知学院大学文学会（同会・平成15年3月）
  - 2 アジア・アフリカ文化研究所研究年報  
〈第36号（二〇〇一年度）〉、37号（二〇〇二年度）〉  
東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編  
（同研究所・平成14年3月、15年3月）
  - 3 アジア研究所紀要〈第28号〉  
垂細垂夫アシア研究所編（同研究所・平成14年3月）
  - 4 アジア文化研究〈28、別冊11〉  
国際基督教大学アシア文化研究所編（同研究所・平成14年3月）
  - 5 大倉山論集〈第48輯〉  
大倉精神文化研究所編（同研究所・平成14年3月）
  - 6 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告書〈第19集〉  
神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所・平成14年11月）
  - 7 神田外語大学紀要〈第14号〉神田外語大学編  
（同大学・平成14年3月）
  - 8 紀州経済史文化史研究所紀要〈第22号〉  
和歌山大学紀州経済史文化史研究所（同研究所・平成14年3月）
  - 9 岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要〈第1号〉  
岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所（同研究所・平成14年）
  - 10 九州大谷研究紀要〈第29号〉  
九州大谷短期大学内九州大谷学会編（同学会・平成15年3月）
  - 11 教化学論集〈2号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗事務院・平成14年3月）
  - 12 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要〈第16号〉  
京都女子大学宗教・文化研究所編（同大学・平成15年3月）
  - 13 現代宗教研究〈第36号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗事務院・平成14年3月）
  - 14 現代密教〈第15号〉  
智山伝法院（同院・平成14年3月）
  - 15 光華女子大学研究紀要〈第40号〉  
光華女子大学編（同大学・平成14年12月）

- 16 光華女子大学短期大学部研究紀要〈第40集〉  
光華女子大学短期大学部編（同大学部・平成14年12月）
- 17 皇学館大学神道研究所紀要〈第18輯〉  
皇学館大学神道研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 18 高野山大学大学院紀要〈第6号〉  
高野山大学大学院文学研究科編（同大学・平成14年12月）
- 19 国際シンポジウム〈第16集、Human Mate Choice and Prehistoric Marita Networks〉、英文◇  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成14年3月）  
国際シンポジウム〈第17集、中国に伝存の日本関係典籍と文化財〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成14年3月）
- 20 国際日本文化研究集会会議録〈第25回（二〇〇一）〉  
国文学研究資料館編（同資料館・平成14年3月）
- 21 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第5号〉  
国際仏教学大学院大学編（同大学・平成14年3月）
- 22 国士館大学文学部人文学会紀要〈第35号〉  
国士館大学文学部人文学会編（同大学同学会・平成14年12月）
- 23 史境〈第44、45号〉  
歴史人類学会編（同学会・平成14年3月、9月）
- 24 種智院大学研究紀要〈第4号〉  
種智院大学基礎教育編（同大学・平成15年3月）
- 25 種智院大学密教資料研究所紀要〈第5号〉  
種智院大学密教資料研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 26 城西大学国際文化研究所紀要〈第8号〉  
城西大学国際文化研究所編（同研究所・平成14年10月）
- 27 信愛紀要〈第43号〉  
和歌山信愛女子短期大学（同会・平成15年3月）
- 28 真宗文化〈第11号〉  
京都光華女子大学真宗文化研究所（同研究所・平成14年7月）
- 29 神道資料叢刊6〈吉川神道関係史料 津軽藩斎藤家文書〉  
伴五十嗣郎編（皇学館大学神道研究所・平成9年3月）
- 30 神道資料叢刊8〈新校 本朝月令〉清水潔編  
皇学館大学神道研究所・平成14年3月
- 31 人文研究紀要〈第43、44、45、46号〉  
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成14年9月、15年2月）
- 32 人文研究〈第53卷 第1、4、7分冊〉  
大阪市立大学大学院文学研究科（同研究科・平成13年12月）
- 33 西山学会年報〈第11、12号〉  
西山学会編（同学会・平成14年3月、9月）
- 34 世界の日本研究〈二〇〇一〉  
国際日本文化研究センター（同センター・平成14年7月）
- 35 禅研究所紀要〈第30号〉  
愛知学院大学禅研究所（同大学同研究所・平成14年3月）
- 36 普通寺教学振興会紀要〈第7号〉  
普通寺教学振興会（同会・平成13年12月）
- 37 創価大学国際仏教学高等研究所年報〈創刊5号〉  
創価大学国際仏教学高等研究所編（同大学同研究所・平成10年3月、平成14年3月）
- 38 地域と社会〈第5号〉  
大阪商業大学比較地域研究所編（同研究所・平成14年8月）

- 40 筑紫女学園大学紀要〈第15号〉  
筑紫女学園大学編（同大学・平成15年1月）
- 41 筑紫女学園短期大学紀要〈第38号〉  
筑紫女学園短期大学編（同大学・平成15年1月）
- 42 智山教化センター年報〈第6号〉  
智山教化センター（同センター・平成14年6月）
- 43 中央学術研究所紀要〈第31号〉  
中央学術研究所編（同研究所・平成14年11月）
- 44 中央学術研究所紀要モノグラフ篇No.5  
〈原始仏教聖典資料による 积尊伝の研究5〉  
金子芳夫編（中央学術研究所・平成14年5月）
- 45 中央学術研究所紀要モノグラフ篇No.9  
〈原始仏教聖典資料による 积尊伝の研究6〉  
森章司編（中央学術研究所・平成14年10月）
- 46 中央大学人文科学研究所年報〈第23号（二〇〇一）〉  
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成14年3月）
- 47 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第7号〉  
鶴見大学（同大学・平成14年4月）
- 48 天理大学おやさと研究所年報〈第8号（二〇〇一）〉  
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 49 東京成徳大学研究紀要〈第9号〉  
東京成徳大学編（同大学・平成14年3月）
- 50 東京立正女子短期大学紀要〈第30号〉  
東京立正女子短期大学編（同大学・平成14年3月）
- 51 東西学術研究所紀要〈第35輯〉
- 52 関西大学東西学術研究所編（同研究所・平成14年3月）  
東北アジアアラカルト〈第6号、東北アジアとユートピア〉  
寺山恭輔、塩谷昌史編
- 53 東北アジアアラカルト〈第7号、新しい地域研究を求めて〉  
（東北大学東北アジア研究センター・平成14年3月）
- 54 東北アジア研究〈第6号〉  
東北大学東北アジア研究センター編（同センター・平成14年3月）
- 55 東北アジア研究シリーズ〈第3号、ツングースの民族と言語〉  
朝克著（東北大学東北アジア研究センター・平成14年3月）
- 56 東北アジア研究センター叢書  
〈第5号、バイカル地溝帯直下におけるマントルの進化〉  
コンスタンチン・リタソフ、谷口宏充著
- 57 東北アジア研究センター叢書〈第6号、モンゴル研究論集〉  
（東北大学東北アジア研究センター・平成14年3月）
- 58 東北アジア研究センター叢書〈第7号、東アジア3国における  
自動車保有・利用の実態と社会意識の調査研究〉  
岡洋樹編（東北大学東北アジア研究センター・平成14年3月）
- 59 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第34号〉  
東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成14年9月）
- 60 東北学院大学論集〈第35号〉  
東北学院大学学術研究会（同研究会・平成14年3月）
- 61 東北福祉大学研究紀要〈第26巻〉  
東北福祉大学編（同大学・平成14年3月）



- 62 東洋学研究〈第38、39号〉  
 東洋大学東洋学研究所（同研究所・平成13年、14年3月）  
 （同センター・平成14年2月、4月、12月）
- 63 東洋学論叢〈27〉  
 東洋大学文学部印度哲学科編（同大学文学部・平成14年3月）
- 64 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第10号〉  
 東洋大学文学部中国哲学文学科編（同同学部・平成14年3月）
- 65 東洋哲学研究所紀要〈第17、18号〉  
 東洋哲学研究所（同研究所・平成14年1月、12月）
- 66 東洋の思想と宗教〈第19号〉  
 早稲田大学東洋哲学学会編（同学会・平成14年3月）
- 67 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第21号〉  
 同朋大学仏教文化研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 68 同朋大学論叢〈第85、86合併号〉  
 同朋大学同朋学会（同学会・平成14年6月）
- 69 同朋仏教〈第37、38号〉  
 同朋大学仏教学会編（同学会・平成13、14年7月）
- 70 奈良大学紀要〈第31号〉 奈良大学編（同大学・平成15年3月）
- 71 成田山仏教研究所紀要〈第25号〉  
 成田山仏教研究所（同研究所・平成14年2月）
- 72 日本語と日本語教育〈第30、31号〉  
 慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編  
 （同センター・平成14年3月、15年3月）
- 73 日文研〈27、28号〉 国際日本文化研究センター編  
 （同センター・平成14年3月、9月）
- 74 日本研究〈第24、26集〉 国際日本文化研究センター編
- 75 福井県立大学論集〈第20、21号〉  
 福井県立大学編（同大学・平成14年2月、7月）
- 76 仏教学報〈第38輯〉  
 東国大学校仏教文化研究院編（同大学・平成13年12月）
- 77 仏教大学総合研究所紀要〈第9号〉  
 仏教大学総合研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 78 仏教大学総合研究所紀要  
 〈別冊 持続可能な社会と共生思想に関する予備的研究〉  
 仏教大学総合研究所編（同研究所・平成15年3月）
- 79 仏教大学総合研究所紀要 〈別冊 法然浄土の総合的研究〉  
 仏教大学総合研究所編（同研究所・平成14年3月）
- 80 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第29冊、図像蒐成8〉  
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会編（同会・平成14年3月）
- 81 平和と宗教〈第21号〉  
 庭野平和財団平和研究会編（同財団・平成14年12月）
- 82 北陸宗教文化〈第14号〉  
 金沢大学文学部比較文化学研究室内北陸宗教文化学会  
 （同学会・平成14年3月）
- 83 密教学〈第38、39号〉  
 種智院大学密教学会編（同学会・平成14年1月、15年1月）
- 84 身延山大学東洋文化研究所報〈第6号〉  
 身延山大学東洋文化研究所編（同研究所・平成14年4月）
- 85 身延山大学仏教学部紀要〈第2号〉  
 身延山大学仏教学部編（同大学同学部・平成13年10月）

## 86 身延論叢〈第7号〉

身延論叢編集委員会編（身延山大学仏教学会・平成14年3月）

## 87 民具・マンスリー〈第34巻12号、第35巻1〜11号〉

神奈川大学日本常民文化研究所編

（同研究所・平成14年3月〜15年2月）

## 88 立正大学人文科学研究年報〈第37〜39号、別冊第13号〉

立正大学人文科学研究所編（同研究所・平成14年3月）

## 89 龍谷史壇〈第11号〉

龍谷大学史学会編（同学会・平成14年3月）

## 90 歴史と民俗〈18〉

神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所・平成14年3月）

## 91 論叢アジアの文化と思想〈第11号〉 アジアの文化と思想の会編

（早稲田大学文学部東洋哲学研究室内同会・平成14年12月）

## 平成十五年 密教文化研究所だより

定例の合同研究会（テーマ「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」）は、生井所長のもと、藤田光寛・中村本然両専従所員、武内・奥山・前谷各所員、学外研究者として岩崎・森岡研究員の他、大塚伸夫氏（大正大学講師）とトーマス・ドライトライン氏（高野山大学講師）にも委託研究員として御参加いただいている。

平成15年7月28日（月）奥山直司「明治20年代前半の印度留学生の事

續」

9月1日（月）大塚伸夫「最初期密教の実態―孔雀明王経を中心として―」

9月26日（金）森 雅秀「インド・ラダック地方チベット仏教寺院調査報告」

10月3日（金）武内孝善「空海の出家と入唐」

10月27日（月）岩崎日出男「唐大興善寺故大弘教大辯正三藏和尚影堂碣銘并序」について―その史料的位置付けと価値を中心として―

て―

11月25日（火）中村本然「真言密教における如意宝珠〈信仰〉」

12月16日（火）藤田光寛「チベット大蔵経研究の若干の課題」

月例研究会の他、個別の研究会として、中村所員が『八宗綱要』を「読む会」を毎週木曜日に、ドライトライン研究員が『即身成仏義』を「読む会」を不定期ながら開催している。『即身成仏義』の方は内容の現代語訳を進めながら、最終的には英語訳を目指すもの。どちらも本学教員や大学院生が参加し、授業や研究会では取り上げがたい細部の問題にも踏みこんで、きわめて有意義な機会となっている。

平成十五年度は密教文化研究所受託研究員として十名、河延龍（韓国）、ステイブン・トレンソン（ベルギー、京都大学大学院博士後期課程）、バーケルマンス・ペテロ（ベルギー、南山大学大学院博士後期課程）、パオラ・ディ・フェリーチェ（イタリア）、静春樹・川崎一洋・北川真寛（高野山大学大学院博士後期課程単位取得退学）・菊谷竜太（東北大学大学院博士後期課程）・小池満秀（東京大学大学院総合文化研究科博

士課程退学)・加納和雄(京都大学大学院博士後期課程)各氏を、それぞれ平成十五年四月一日から同十六年三月三十一日まで受け入れている。

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、中野博士の著作物売上金と御親族の寄附金を基金とし、平成十二年から「中野義照博士奨学金規程」を設けているが、平成十五年五月の規程の改正を受けて、密教文化研究所研究員を対象として奨励研究員の公募が行なわれた。七月八日研究所協議会において選考の結果、受託研究員加納和雄氏が奨励研究員として採用された。研究テーマは「宝性論の研究」である。

平成十四年度から継続事業として開始された高野山親王院所蔵聖教・古文書調査は、今年十二月時点で上蔵の聖教約百四十箱が調査済みで、鎌倉から江戸初期頃の写本や古文書のべ百八十六点、約七千七百コマを撮影している。

## 南アジアにおける

### 密教図像の形成と展開に関する研究

平成十二年度から日本私立学校振興・共済事業団の学術研究振興資金の交付を受けて行われた「南アジアにおける密教図像の形成と展開に関する研究」は、十四年が最終年度であったが、諸般の事情で年度内の海外調査が実施できず、今年度に入ってから研究分担者森雅秀氏(密教文化研究所委託研究員、金沢大学助教授)が七月二十日から八月一日まで、インド・ラダック地方のチベット仏教寺院の現地調査を実施した。調査

の概要については九月二十六日の定例研究会において口頭発表がなされたが、貴重な壁画や彫像については、約二十年前に本学はじめ各研究機関が実施した調査時とほとんど現状が変わっていないこと、有名なアルチ寺三層堂については堂内の写真撮影が禁止され、見学も初層のみに制限されている、しかし、同寺のこれまで注目されていなかった堂塔に、保存状態は劣るものの、三層堂のものと時期的にはほとんど変わらない壁画が残されており、今後の詳しい調査により、新しい成果が期待できること等が報告された。

主要な調査地は次のとおり。

(インド・デリー)

チベット・ハウス、ニューデリー国立博物館、

インディラ・ガンディー国立芸術センター

(ラダック)

ラミュル寺、リゾン寺、アルチ寺、サスポール寺、ツァツァプリ寺、リキール寺、バスゴ寺、フィヤン寺、ティセルー仏塔、サンカル寺、ナムギェル・ツェモ、ヘミス寺、ティクセ寺、シェー寺、タクトク寺、チェムレイ寺、トク王宮、マトー寺、スタクナ寺

密教文化研究所構成員名簿(平成十五年十二月現在)

所長

専従研究所員

〃

兼任研究所員

〃

〃

委託研究員

〃

〃

〃

顧問

研究所事務室長

専門員

生井 智紹 (文学部教授)

藤田 光寛 (文学部教授)

中村 本然 (文学部教授)

武内 孝善 (文学部教授)

奥山 直司 (文学部教授)

前谷 彰 (文学部助教授)

岩崎日出男 (園田学園女子大学助教授)

森 雅秀 (金沢大学文学部助教授)

大塚 伸夫 (大正大学講師)

トーマス・ドライトライン (高野山大学講師)

松長 有慶 (名誉教授)

甲田 博史

甲田 博史

川崎 一洋

塩崎まどか (非常勤)

【教職員人事】

○退任 平成十五年三月三十一日付

藤田 光寛 専従研究所員

前谷 彰 専従研究所員

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫 兼任研究所員

室寺 義仁 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀 委託研究員

野口 圭也 委託研究員

大塚 伸夫 委託研究員

○就任 平成十五年四月一日付

藤田 光寛 専従研究所員

中村 本然 専従研究所員

武内 孝善 兼任研究所員

奥山 直司 兼任研究所員

前谷 彰 兼任研究所員

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀 委託研究員

大塚 伸夫 委託研究員

トーマス・ドライトライン 委託研究員

## 高野山大学密教文化研究所規程

### (総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要な事項を定めるものである。

### (目的)

第二条 この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

### (事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

### (研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門

### (職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所長 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

### (研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。

3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

### (研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。

3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。

4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。

5 専従研究所員の担当する授業時間数については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱することがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 委託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所事務室がつかさどる。

2 研究所事務室に事務室長、専門員及びその他の専務職員を置く。

3 専務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所事務室長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分

野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則の準用)

第二一条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関して必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規定の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日より施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

適用する。

この規程は平成一四年二月二日より施行する。

### 『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議課員の議を経て、研究所長が決定する。

#### 附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。
- 1 この規程は、平成一四年五月二二日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
  - (2) 研究所員
  - (3) 研究員
  - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会に、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

## 附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

- (設置)
- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。
- (目的)
- 第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。
- (構成)
- 第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。
- 2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。
- (任務)
- 第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。
- 2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- (改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。



附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

---

執筆者紹介（掲載順）

藤田 光寛 密教文化研究所専従研究所員

（文学部教授）

大塚 伸夫 密教文化研究所委託研究員

（大正大学講師）

静 春 樹 密教文化研究所委託研究員

（高野山大学大学院博士後期課程

退学）

パオラ・デイ・フェリーチェ

密教文化研究所委託研究員

ペテロ・バーケルマン

密教文化研究所委託研究員

（南山大学大学院文学研究科博士

課程）

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十七号をお届けいたします。今号には藤田光寛、大塚伸夫、静春樹、P・D・フェリーチェ、P・バーケルマン各先生の論文を掲載いたしました。

何れの雑誌もさりながら、原稿を集めるのには一苦労を要します。今回は特に広く研究員の方々に寄稿を呼びかけたところ、ほぼ予定ページ数を満たしたことは、編集サイドとして大変喜ばしく思えます。査読を行なうことは勿論ですが、学術雑誌としての質的低下を招くことのないよう努力したいと思います。

論文の内、大塚先生のは昨年度の月例研究会において発表された論考をもとに、更に手を加えたもの。パオラ・デイ・フェリーチェ研究員の英文論文は、欧米人の密教の捉え方に我々が考えているイメージと微妙なズレは感じられるもの、広い意味での密教の文化的派生を扱ったものとしては興味深い論考といえるでしょう。ペテロ・バーケルマン研究員のは『大乘起信論』英訳の前半で、ペテロ氏は平成十年三月に高野山大学大学院修士課程仏教学専攻を修了、現在南山大学大学院博士課程に在学中ですが、京都のカトリック教会に在職する神父でもあり、異宗教を理解した上で英語訳に取り組むという苦心の跡が窺えるものになっています。

（甲田記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第十七号

平成十六年二月二十一日 印刷  
平成十六年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 生井智紹

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学  
電話(0736) 51350 ㊟ 51360

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-121-1  
電話(06) 64685756 ㊟ 5570000